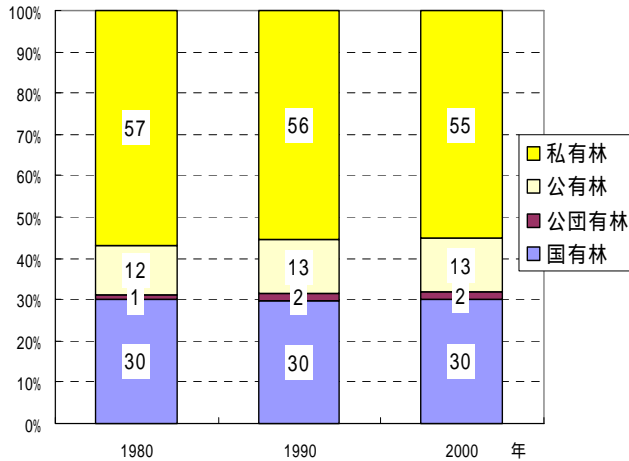


指標：森林管理の状況

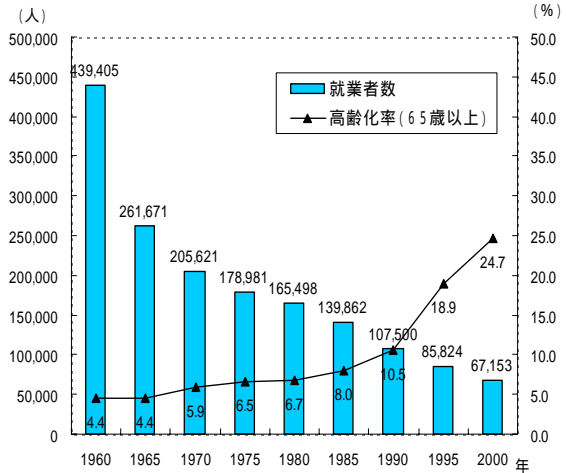
森林の保有状況の推移を見ると、私有林が減少し、公有林など公的主体が保有する森林が増加する傾向にある。
 林業就業者数の推移を1960年からの40年間で見ると大幅に減少(85%減)しており、65歳以上の高齢者が占める割合も近年急激に上昇している。

森林の保有状況の推移(面積割合)



出典：「世界農林業センサス」をもとに国土交通省国土計画局作成

林業就業者数、高齢化率の推移



出典：「国勢調査」をもとに国土交通省国土計画局作成